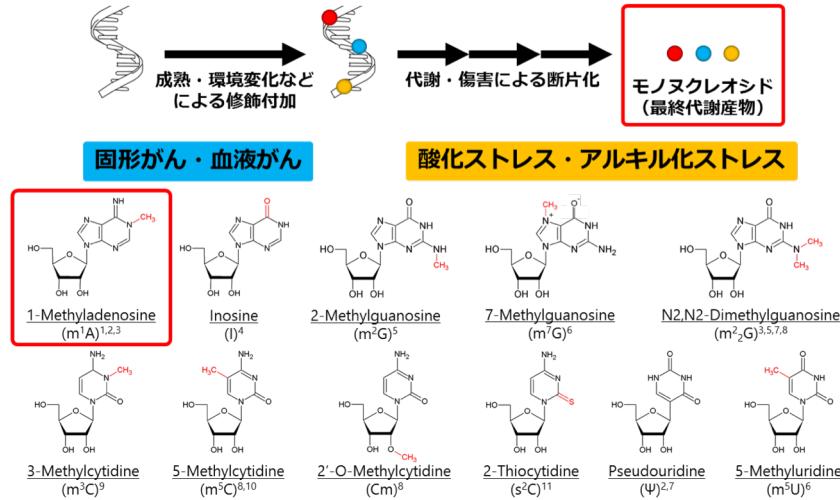
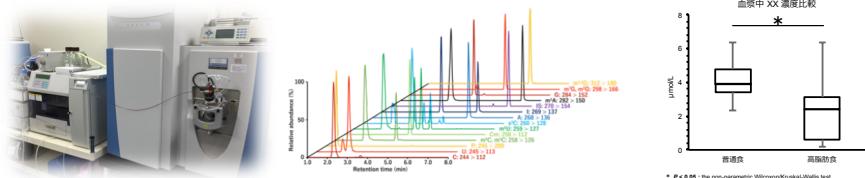


修飾核酸のハイスループット一斉分析法の開発



RNAにおいては多様な修飾核酸が知られており、100種類以上が存在する。その一部を示す。修飾核酸は固体がん・血液がんの診断マーカー、あるいは酸化ストレス・アルキル化ストレスのマーカーとしての有用性が示唆されている。



- **修飾核酸**とは、DNAやRNAを構成する核酸に転写後修飾が加わったものであり、遺伝子の発現制御をはじめ様々な生命現象に関わっている。
- 近年、修飾核酸は様々な疾患や病態の**バイオマーカー**として見出されてきており、複数の修飾核酸の変動を**プロファイル解析**することは、疾患や病態を理解するために有用である。
- 包括的プロファイル解析のための迅速かつ高選択的な**修飾核酸一斉分析法**を開発した。
- 本分析法は**バイオマーカーとしての修飾核酸の多検体の迅速検査が可能になる**だけでなく、**病勢マーカーの探索、疾患・病態の解明**において有用なツールになりうる。

開発・推進

東北大学大学院薬学研究科 がん化学療法薬学分野

参考資料等

Jinno, D.; Kanemitsu, Y.; Saitoh, K.; Nankumo, S.; Tsukamoto, H.; Matsumoto, Y.; Abe, T.; Tomioka, Y. *Journal of Analytical Science and Technology* 2017, 8 (1), 1.